

第2期加東市教育大綱における令和4年度の取組内容について

資料1

基本方針/基本的方向			
I 未来を切り拓く子どもを育む 小中一貫教育の推進 ～学びの連続性を大切にされた教育の充実～	令和3年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和4年度における取組	担当課
①「確かな学力」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・加東市独自に標準学力調査を小学4・5年生の算数で実施して学習上のつまずきを的確に把握し、個に応じた指導を充実させた。 ・英語教育について、小中連携のALT研修を実施し、指導力向上を図った。 ・教員研修やICT支援員の派遣、活用事例の共有により、1人1台PCの効果的な活用を推進した。1週間に3日以上1人1台PCを活用している教員の割合は56.1%となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の視点から長期にわたり経年比較ができるよう、小学3年生から中学2年生までの国語と算数の2教科で調査することで、個に応じた指導をさらに充実させる。 ・小中間の円滑な英語教育の連携・推進を図るため、授業改善研修を行う。 ・授業や家庭学習で使える効果的なコンテンツを導入し、活用の推進を図る。 	学校教育課
②夢や志を持ち挑戦する力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・トライやる・ウィークについて、新型コロナウイルス感染防止のため事業所での実施ができなかったが、各校においてトライやる・ウィークの趣旨に沿った取組を行い、地域と共に生きる心や感謝の心を育んだ。一方で、社会に触れる機会の確保が課題となっている。 ・副読本「かとう学」を市立学校の全児童生徒へ配布するとともに、社会科だけでなく教科横断的に活用することで、ふるさとへの愛着や自信と誇りの醸成に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トライやる・ウィークなどの既存の校外学習について、感染拡大状況を踏まえつつ実施を判断するとともに、実施ができない場合は、引き続き代替の取組を行うなど、子どもたちが社会に触れる機会の確保につなげる。 ・引き続き、授業における副読本「かとう学」の効果的な活用方法を検証し、市立学校での利用を促進する。 	学校教育課 小中一貫教育推進室
③「豊かな心」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業研究・教員研修（「特別支援学級における道徳学習のあり方」）を実施し、指導内容や教師の関わり方について多くの気づきや学びを深めた。 ・小中学校人権教育講演会では、性的少数者の人権等、多様な個性を認め、共生する心を育んだ。 ・外国人児童生徒の増加により、サポートする人材の確保が課題となっている。 ※支援を必要とする外国人児童生徒の人数・・・15人 	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫教育大学との連携の強化による日本語初期指導教室の充実を図る。また、「特別の教育課程」の実施と職員の資質向上を図るため、外部講師を招いて職員研修を実施する。 	学校教育課

基本方針/基本的方向			
I 未来を切り拓く子どもを育む 小中一貫教育の推進 ～学びの連続性を大切にされた教育の充実～	令和3年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和4年度における取組	担当課
④「健やかな体」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力向上推進委員会において、児童生徒の運動の機会を増やすため、家庭でもできる体力向上の取組を検討し、各校で実施した。 ・学校給食において、月に1度地産地消や郷土食、食育につながる献立内容を提供した。また、食べることに興味を促すメニューとして、かとう夢プランの日や、子どもたちの要望をふまえ、リクエストメニュー、かみかみメニューといった取組を実施した。 ・部活動指導員の拡充を図ったが、人材の確保に苦慮している。 ※部活動指導員の配置人数・・・6人 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でもできる運動の動画を作成することで、PCで児童生徒がいつでも視聴し、活用できる環境を整える。 ・地元食材の納入登録業者を増やすとともに、給食メニューへのもち麦使用率の増加等に取り組み、新しいオリジナルメニューの提供を目指す。あわせて、地元食材を活用することで、給食を生きた教材として活用し、食べることへの知識や感謝の醸成につなげる。 ・令和5年度からの地域部活動の段階的な移行に向けて、部活動指導員を増員するため、体育協会や兵庫教育大学と連携を図る。 	<p>学校教育課 教育総務課 学校給食センター</p>
⑤インクルーシブ教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・年間相談件数が年々増加しており、発達検査を含めた相談回数を増やす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達検査を含めた相談回数を増やし、支援が必要な子どもたちを早期に発見・介入して支援する。 	<p>発達サポートセンター</p>
⑥幼児教育の充実	<p>以下のとおり研修会等を実施し、保育士等の資質向上を図ることで、質の高い教育・保育の提供ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2分野（保健衛生・安全対策分野、マネジメント分野）における保育士等キャリアアップ研修の実施 ・加東市保育士研修会の実施（2回） ・保育士を対象とした幼児期人権教育指導者養成セミナー（理論編・実技編）の実施、セミナー受講後の保育士等による親子セミナー（7/14三草こども園17組、10/29米田こども園10組）及び「みんなたいせつプログラム」の実施 	<p>内容検討のうえ、引き続き研修会等を開催し、保育士等の資質向上、質の高い教育・保育の提供につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士等キャリアアップ研修の他の分野の実施 ・市内保育所等の職員の交流や情報交換のための年代別研修会の実施 ・スキルの定着のための幼児期人権教育指導者養成セミナーの継続実施及び「みんなたいせつプログラム」の継続的な活用促進 ・保護者の自己肯定感を高めるための子育て相談の実施 	<p>こども教育課</p>

基本方針/基本的方向			
II 子どもの学びを支える教育環境の整備	令和3年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和4年度における取組	担当課
①学校の組織力及び教職員の資質能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で教職員研修の形態を工夫し、リモートやビデオ・オン・デマンドによる研修を推進したことにより、教職員のICT活用指導力が伸びた。 ・感染防止対策等により教職員の業務は増えたが、スクール・サポート・スタッフへの地域人材の活用により、働き方改革を推進した。 ・児童生徒の心のケアを重視した教育相談、アンケート調査が実施できた。一方で、いじめ、不登校支援については、今後も研究が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染収束後、もとの研修形態に戻さず、リモート、ビデオ・オン・デマンドによる研修を推進し、教職員の負担軽減を図る。 ・スクール・サポート・スタッフを引き続き全校に配置する。 ・いじめ及び不登校の組織的な支援を強化するため、スクールソーシャルワーカーを支援チームに入れ、再発防止までの取組ができるようにする。 	学校教育課
②家庭・地域の力を生かした教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・青色パトカーによる下校時の巡回回数を増やすとともに、巡回の際は小学校の職員室に立ち寄り、教頭等と面談のうえ情報交換を行い、子どもの安全確保に努めた。 ・ネットパトロールによって得た情報は、各小・中学校に速報し情報の共有を図ったが、各小・中学校との連携が課題となっている。 ・補導委員による巡回補導は「ながら見守り」を中心に行い、マイカーでの巡回の際には、車両に「ながら見守り実施中」のマグネットシートを掲出して市民に啓発した。 ・「地域とともにある学校づくり」に向け、学校運営協議会を設置し、会議を開催した。一方で、地域学校協働活動のさらなる充実が課題となる。 ・子どもたちに様々なことを体験する機会を提供するため、子どもたちによる市の魅力発見・広報体験講座として、「記者・キャスター体験」や旧東条西小学校体育館を新たな活動拠点とした体験教室を実施するなど、創作・体験・野外活動の分野で体験事業を行った。一方で、新規の参加者をどう確保するかが課題である。 【R3.6～R3.10現在】10事業17回開催（2事業延期または中止） 【R3.11～R4.3】15事業36回開催予定 ・兵庫教育大学と連携して、不登校児童生徒及び保護者に対する対応を研究・実践するとともに、学生を学習支援員として各学校に派遣することで、学習上のつまづきの解消を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域有志との連携を図り、よりきめ細やかな青色パトカー巡回を行う。 ・各学校の生徒指導担当教諭との一層の連携強化を図る。 ・補導委員活動は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら活動を通常化していく。 ・地域学校協働活動について、初年度の活動を積み重ね、地域と学校の協働体制を確立するための基盤づくりを継続する。 ・子どもたちの体験事業について、加東市の自然を活かした企画や兵庫教育大学との連携による事業、保護者や子育て家庭を支えるための無料で参加できる教室を増やすことについて検討し、魅力ある体験の場を提供することで、新規の参加者を確保する。 	学校教育課 小中一貫教育推進室 こども教育課 生涯学習課

基本方針/基本的方向			
II 子どもの学びを支える教育環境の整備	令和3年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和4年度における取組	担当課
③学校施設の整備と就学支援	<ul style="list-style-type: none"> 東条地域小中一貫校建設工事について、計画的に工程を進めた。今後は11月末に工事を完成し、1月から新校舎での学びをスタートさせる。また、旧東条中学校の整備計画に沿って施設の解体工事を進める。社地域小中一貫校については、実施設計を進めるとともに、先行工事として敷地を拡張するカセ池の造成工事と社中学校施設の解体工事を進める。 既存の学校施設について、小中一貫校の整備計画を踏まえ、適切に修繕を行った。閉校後の活用に向けて閉校した学校施設の改修の設計が進捗した。 東条学園の開校に伴うスクールバスの運行を開始し、児童生徒の通学における利便性の向上を図った。今後は、令和4年1月に完成予定の新校舎への移行に向けて、運行内容の調整を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫校の整備について、引き続き旧東条中学校の施設解体工事と整備計画に沿った工事を進めていく。また、令和4年度からは令和7年度開校に向けて社地域小中一貫校建設工事に着手する。滝野地域小中一貫校については、基本計画策定作業を行い、施設配置計画、工程計画、概算事業費を求め、整備事業を進めていく。 既存の学校施設について、教育環境を確保するために、引き続き小中一貫校の整備計画を踏まえた修繕を適切に行っていく。 	小中一貫教育推進室 教育総務課

基本方針/基本的方向			
III 人生100年時代の到来を見すえた生涯学習の推進	令和3年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和4年度における取組	担当課
①多様な学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者大学について、少人数で行うスキルアップ講座を新たにスタートさせることで、学びの機会を充実させた。一方で様々な活動の担い手となる人材の育成や学生の高齢化、新たな入学生の減少が課題となっている。 講座 (7/14～16、10/2、10/27、10/28、10/29、12/18、1/23) 閉講式 (2/19) スキルアップ講座 (6/25、7/1、7/30、9/21、10/13、11/9、11/16、11/30、12/16) 	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会において、楽しく学べる合同・教養講座やスキルアップ講座を開催し、魅力ある高齢者大学となるようアイデアを募り、学生が増加するような取組を検討する。 	生涯学習課

基本方針/基本的方向			
Ⅲ 人生100年時代の到来を見すえた生涯学習の推進	令和3年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和4年度における取組	担当課
②人権教育・啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人権感覚を育むため、人権啓発情報誌「夢きらめいて」を年2回発行するとともに、加東市民人権講座（年3回）や人権啓発講演会を開催（新型コロナウイルスの影響によりケーブルテレビ・You Tubeによる動画配信）したほか、男女共同参画セミナーや広域隣保活動事業、地域に学ぶ体験学習支援事業を実施した。 ・課題として、動画配信による実施は若者への啓発にもつながる可能性がある一方で、視聴者の反応を伺いづらく、成果を図ることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、加東市民人権講座（年3回）・人権啓発講演会を対面により実施し、事後アンケートにより成果の把握につなげる。 	人権協働課
③文化芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・芸能発表や作品展示を行う加東市文化連盟祭を開催し、発表の場を設けることで活動の継続につなげた。 ・加東市文化連盟について、新型コロナウイルスの影響を受けた相次ぐイベントの中止による活動機会の減少や会員の高齢化により、団体数及び加入者の減少が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加東市文化連盟について、加東市文化連盟祭などの発表の場を他のイベント（秋のフェスティバル・市文化祭）と合同で開催することで、活動を広く市民にPRするとともに、発表の機会を設けることで、団体の活動継続を支援する。 	生涯学習課
④文化財の保護と活用・継承	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けないように地域交流センター（ロビー）での文化財の常設展示を行うことで、常時観覧（無料）を可能とした。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、展示会などの人を集めて行う催しの実施時期が総じて年度後半にずれ込むなど、コロナ禍におけるイベントの実施及び日程調整が課題であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況を注視して、早めの対策を打ち出すとともに、小規模な企画を適時開催するなど、コロナ禍でも実施可能な取組を検討する。 	生涯学習課
⑤生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、市民の健康増進を目的としたふれあい球技大会において、一部の種目を開催することができた。一方で、開催できなかった屋内・屋外種目や多くの人が集まる加東伝の助マラソン大会について、どのようにして安全を確保し、安心な大会を開催・運営するのか具体的な対策を定める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外競技だけでなく、屋内競技や多くの人が集まる大会を安全・安心に開催するために、大会スタッフや選手、観戦者など、全ての人の行動指針となる具体的な感染症対策の項目について検討する。 	生涯学習課

基本方針/基本的方向			
Ⅲ 人生100年時代の到来を見すえた生涯学習の推進	令和3年度の主な成果見込と課題	課題を踏まえた令和4年度における取組	担当課
⑥ 社会教育施設及び社会体育施設の効率的な管理・運営	<p>・各施設の老朽化が進んでおり、維持費や施設改修費が増加している。今後継続して建物を維持管理していくために、施設の長寿命化計画を策定し、計画的に改修を行っていくことが必要である。</p> <p>社会教育施設・・・長寿命化計画を策定予定 社会体育施設・・・屋内施設の長寿命化調査を実施中</p>	<p>・社会教育施設について、長寿命化計画に基づき、計画的に改修を行っていく。</p> <p>・社会体育施設について、屋外施設の長寿命化調査を実施し、社会体育施設全体の長寿命化計画を策定する。</p>	生涯学習課
⑦ 図書館サービスの充実	<p>・「おはなし会」「おとどけ図書館」「おでかけ図書館」を通して、子どもたちの本との出会いの機会を増やすことができた。新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、様々な行事を行い、市民に図書館への親しみをもってもらえた一方で、各行事の規模は縮小している。</p>	<p>・引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、子どもたちを中心に市民が利用しやすい図書館サービスを行う。さらに図書館利用が困難な人たちに向けてのサービスを検討する。</p>	中央図書館